

参考図表

利用上の注意

- 1 表示単位未満の端数は、四捨五入した。
したがって、計と内訳とは必ずしも一致しない。
- 2 増減率は、原数値で計算しているため、表中の数値による
計算値とは必ずしも一致しない。
- 3 表に使用した記号
 - (1) 「0」は、単位に満たないもの。
 - (2) 「▲」は、マイナスのもの。
 - (3) 「…」は、事実不詳のもの。
 - (4) 「-」は、該当のないもの。
 - (5) 「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を
保護するため、統計数値を公表しないもの。



目次

1	水産基本指標	1
2	水産物需給	
2-1	漁業・養殖業部門別生産量・生産額の推移	2
2-2	海面漁業主要魚種別生産量及び産出額の推移	3
2-3	海面養殖業主要魚種別生産量及び生産額の推移	4
2-4	内水面漁業・養殖業主要魚種別生産量及び産出額の推移	4
2-5	漁業・養殖業都道府県別生産量・産出額（令和2年）	5
2-6	水産物の主要品目別輸入数量及び金額の推移	6
2-7	輸入金額上位3か国からの主要輸入品目の金額	6
2-8	水産物の主要品目別輸出数量及び金額の推移	7
2-9	輸出金額上位3か国（地域）への主要輸出品目の金額	7
2-10	主要品目別産地価格の推移	8
2-11	魚介類国内消費仕向量及び自給率の推移	8
2-12	年間1人当たりの魚介類品目別家計消費の推移（全国）	9
3	国際	
3-1	世界の漁業・養殖業生産量の推移	10
3-2	食用魚介類供給量の推移	11
	（1）主要国別供給量の推移	11
	（2）国民1人1年当たりの供給量の推移	11
3-3	マグロ類に関する情報	11
	（1）国・地域別漁獲量	11
	（2）魚種別漁獲量	12
	（3）冷凍マグロ4種の消費地市場（東京都）価格の推移	12
	（4）我が国への供給量の推移	12
4	漁業経営・生産構造	
4-1	漁業経営体数の推移	13
4-2	経営組織別漁業経営体数の推移	14
4-3	漁業用生産資材価格指数の推移（平成27（2015）年=100）	14
4-4	沿岸漁家の漁労所得の推移	14
4-5	沿岸漁船漁家の漁業経営状況の推移	15
4-6	海面養殖業漁家の経営状況の推移	15
4-7	会社経営体（漁船漁業）の漁労収益の状況（令和2（2020）年度）	16
4-8	会社経営体（漁船漁業）の収益状況の推移	16
4-9	会社経営体（漁船漁業）の財務状況等の推移	17

4-10	漁協（沿海地区出資漁協）の事業規模（全国）の推移	17
4-11	沿岸、沖合・遠洋漁業別就業者数の推移	18
4-12	新規漁業就業者数の推移	18
4-13	我が国の漁船勢力の推移	18

5 漁村

5-1	漁港数の推移	19
5-2	漁港登録漁船隻数の推移	19

6 水産物の栄養

6-1	1人1日当たり食品群別栄養素等摂取量（令和元（2019）年）	19
6-2	DHA、IPAを多く含む食品の例	20



1 水産基本指標

	項目	データ	備考
経済指標	排他的経済水域等	447万km ²	国土面積37.8万km ² 、国土面積の約12倍
	国内総生産（GDP）	水産業は7,286億円（令和2年）	総生産は538兆円
水産物需給	自給率	<ul style="list-style-type: none"> ・食用魚介類：57% （令和2年度概算値） ・魚介類全体：55% （令和2年度概算値） ・海藻類：70% （令和2年度概算値） 	<ul style="list-style-type: none"> ・食用魚介類自給率目標（水産基本計画、重量ベース） 令和14年度 94% ・食用魚介類自給率ピーク 昭和39年度 113%
	漁業・養殖業生産量	423万 t（令和2年）	生産量ピーク 1,282万 t（昭和59年）
	漁業生産額	1兆3,442億円（令和2年）	生産額ピーク 2兆9,772億円（昭和57年）
	漁業産出額	1兆3,223億円（令和2年）	
	種苗の生産額	219億円（令和2年）	
生産漁業所得	6,421億円（令和2年）		
貿易	輸入額	1兆6,099億円（令和3年）	農林水産合計10兆1,755億円
	輸出額	3,015億円（令和3年）	農林水産合計1兆2,382億円
漁業経営	沿岸漁家の漁業所得	177万円（令和2年）	
	沿岸漁船漁家	112万円（令和2年）	
	海面養殖業漁家	527万円（令和2年）	
生産構造	漁業経営体数	7.0万経営体（令和2年）	昭和38年は26.7万経営体
	漁業就業者数	13.6万人（令和2年）	昭和36年は69.9万人
	漁業協同組合数	1,771組合（沿海地区漁協は881組合） （令和2年度末）	昭和41年は2,476組合 （漁業協同組合合併助成法の施行直前の沿海地区漁協数）
	漁船数	120,270隻（令和2年）	昭和43年は345,606隻
	漁港数	2,785港（令和3年4月）	平均すると海岸線約12.7kmごとに存在
	漁業集落数	6,298集落（平成30年）	平均すると海岸線約5.6kmごとに存在

注：1）漁業生産額は、漁業産出額（漁業・養殖業の生産量に産地市場卸売価格等乗じて推計したもの）に種苗の生産額を加算したもの。
 2）生産漁業所得とは、漁業産出額から物的経費（減価償却費及び間接税を含む。）を控除し、経常補助金を加算したものの。

2 水産物需給

2-1 漁業・養殖業部門別生産量・生産額の推移

〔単位〕数量：千t
金額：億円

		平成22年 (2010)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	増減率 (%)	
									令和2/平成22 (2020/2010)	令和2/元 (2020/2019)
生産量	合計	5,313	4,631	4,359	4,306	4,421	4,197	4,234	▲ 20.3	0.9
	海面	5,233	4,561	4,296	4,244	4,364	4,144	4,183	▲ 20.1	0.9
	漁業	4,122	3,492	3,264	3,258	3,360	3,229	3,213	▲ 22.0	▲ 0.5
	遠洋漁業	480	358	334	314	349	329	298	▲ 37.8	▲ 9.2
	沖合漁業	2,356	2,053	1,936	2,051	2,042	1,970	2,044	▲ 13.3	3.7
	沿岸漁業	1,286	1,081	994	893	969	930	871	▲ 32.3	▲ 6.3
	養殖業	1,111	1,069	1,033	986	1,005	915	970	▲ 12.7	5.9
	内水面	79	69	63	62	57	53	51	▲ 35.9	▲ 4.1
	漁業	40	33	28	25	27	22	22	▲ 45.4	▲ 0.1
	養殖業	39	36	35	37	30	31	29	▲ 26.2	▲ 6.8
生産額	合計	14,830	15,859	15,857	16,056	15,636	14,918	13,442	▲ 9.4	▲ 9.9
	海面	14,001	14,823	14,719	14,859	14,424	13,698	12,314	▲ 12.1	▲ 10.1
	漁業	9,717	9,957	9,621	9,609	9,364	8,691	7,755	▲ 20.2	▲ 10.8
	養殖業	4,284	4,866	5,098	5,250	5,060	5,007	4,559	6.4	▲ 8.9
	(うち種苗)	183	193	210	271	199	205	191	4.5	▲ 6.8
	内水面	829	1,036	1,138	1,197	1,213	1,220	1,128	36.1	▲ 7.6
	漁業	226	184	198	198	185	164	165	▲ 27.2	0.8
養殖業	602	853	940	998	1,028	1,057	963	59.8	▲ 8.9	
(うち種苗)	36	44	47	49	46	30	28	▲ 23.1	▲ 7.2	

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び「漁業産出額」

- 注：1) 遠洋漁業とは、遠洋底びき網漁業、以西底びき網漁業、大中型遠洋かつお・まぐろ1 そうまき網漁業、遠洋まぐろはえ縄漁業、遠洋かつお一本釣漁業及び遠洋いか釣漁業をいう。なお、平成24(2012)年以降は、遠洋底びき網漁業、以西底びき網漁業、大中型遠洋かつお・まぐろ1 そうまき網漁業、太平洋底刺し網等漁業、遠洋まぐろはえ縄漁業、大西洋等はえ縄等漁業、遠洋かつお一本釣漁業及び遠洋いか釣漁業をいう。
- 2) 沖合漁業とは、10トン以上の動力漁船を使用する漁業のうち、遠洋漁業、定置網漁業及び地びき網漁業を除いたものをいう。平成24(2012)年以降は、沖合底びき網1 そうびき漁業、沖合底びき網2 そうびき漁業、小型底びき網漁業、大中型近海かつお・まぐろ1 そうまき網漁業、大中型その他の1 そうまき網漁業、大中型2 そうまき網漁業、中・小型まき網漁業、さけ・ます流し網漁業、かじぎ等流し網漁業、さんま棒受網漁業、近海まぐろはえ縄漁業、沿岸まぐろはえ縄漁業、東シナ海はえ縄漁業、近海かつお一本釣漁業、沿岸かつお一本釣漁業、近海いか釣漁業(令和元(2019)年以降は、沖合いか釣漁業(遠洋漁業に属するものを除く。))、沿岸いか釣漁業、日本海べにずわいがに漁業及びずわいがに漁業をいう。
- 3) 沿岸漁業とは、漁船非使用漁業、無動力漁船及び10トン未満の動力漁船を使用する漁業並びに定置網漁業及び地びき網漁業をいう。平成24(2012)年以降は、船びき網漁業、その他の刺網漁業(遠洋漁業に属するものを除く。)、大型定置網漁業、さけ定置網漁業、小型定置網漁業、その他の網漁業、その他のはえ縄漁業(遠洋漁業又は沖合漁業に属するものを除く。)、ひき縄釣漁業、その他の釣漁業、採貝・採藻漁業及びその他の漁業(遠洋漁業又は沖合漁業に属するものを除く。)をいう。
- 4) 海面養殖業とは、海面又は陸上に設けられた施設において、海水を利用して水産動植物を集約的に育成し、収穫する事業をいう。なお、海面養殖業には、海面において、魚類を除く水産動植物の採苗を行う事業を含む。
- 5) 内水面漁業とは、公共の内水面において、水産動植物を採捕する事業をいう。
- 6) 内水面養殖業とは、一定区画の内水面又は陸上において、淡水を使用して水産動植物(種苗を含む。)を集約的に育成し、収穫する事業をいう。
- 7) 海面漁業生産額の合計には、捕鯨業を含む。
- 8) 内水面漁業・養殖業生産量は、平成22(2010)年は主要108河川24湖沼、平成27(2015)～30(2018)年は主要112河川24湖沼、令和元(2019)年以降は113河川24湖沼の値である。内水面養殖業は、ます類、あゆ、こい及びうなぎの4魚種の収穫量である。また、収穫量には、琵琶湖、霞ヶ浦及び北浦において養殖されたその他の収穫量を含む。
- 9) 生産額は、種苗の生産額を含む。



2-2 海面漁業主要魚種別生産量及び産出額の推移

〔単位〕数量：千t
金額：億円

		平成22年 (2010)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	増減率 (%)	
									令和2/平成22 (2020/2010)	令和2/元 (2020/2019)
生 産 量	合 計	4,122	3,492	3,264	3,258	3,360	3,229	3,213	▲ 22.0	▲ 0.5
	ま ぐ ろ 類	208	190	168	169	165	161	177	▲ 14.9	▲ 9.9
	か じ き 類	18	15	14	13	12	11	10	▲ 43.6	▲ 4.3
	か つ お 類	331	264	240	227	260	237	196	▲ 40.9	▲ 17.5
	さ け ・ ま す 類	180	140	112	72	95	60	63	▲ 65.1	▲ 3.9
	い わ し 類	542	642	710	769	739	807	944	74.1	17.0
	うち、まいわし	70	311	378	500	522	556	698	895.4	25.5
	うち、かたくちいわし	351	169	171	146	111	130	144	▲ 59.0	10.6
	あ じ 類	185	167	153	165	135	114	111	▲ 40.1	▲ 2.9
	さ ば 類	492	530	503	518	542	450	390	▲ 20.8	▲ 13.5
	さ ん ま	207	116	114	84	129	46	30	▲ 85.7	▲ 35.2
	ぶ り 類	107	123	107	118	100	109	101	▲ 5.1	▲ 6.9
	ひ ら め ・ か れ い 類	57	49	50	54	48	48	46	▲ 18.6	▲ 4.4
	た ら 類	306	230	178	174	178	207	217	▲ 29.2	▲ 4.4
	うち、すけとうだら	251	180	134	129	127	154	160	▲ 36.2	▲ 4.1
	ほ っ け	84	17	17	18	34	34	41	▲ 51.4	20.6
	た い 類	25	25	25	25	25	25	23	▲ 6.2	▲ 6.7
	い か 類	267	167	110	103	84	73	82	▲ 69.2	12.6
うち、するめいか	200	129	70	64	48	40	48	▲ 75.8	22.0	
ほ た て が い	327	234	214	236	305	339	346	5.8	1.9	
上 記 以 外 の 魚 種	786	583	549	515	508	506	436	▲ 44.5	▲ 13.7	
産 出 額	合 計	9,717	9,957	9,621	9,609	9,364	8,691	7,755	▲ 20.2	▲ 10.8
	ま ぐ ろ 類	1,260	1,324	1,167	1,229	1,237	1,292	1,169	▲ 7.3	▲ 9.6
	か じ き 類	110	107	104	100	96	84	76	▲ 30.9	▲ 9.0
	か つ お 類	698	666	645	691	608	520	462	▲ 33.8	▲ 11.1
	さ け ・ ま す 類	646	723	668	666	601	354	434	▲ 32.9	22.6
	い わ し 類	568	647	650	672	760	711	715	25.9	0.6
	うち、まいわし	69	173	198	254	236	271	312	355.6	15.1
	うち、かたくちいわし	176	140	130	132	112	122	122	▲ 31.0	▲ 0.7
	あ じ 類	364	358	323	309	279	276	266	▲ 26.9	▲ 3.6
	さ ば 類	417	451	435	450	501	446	396	▲ 5.0	▲ 11.2
	さ ん ま	275	253	259	244	251	130	143	▲ 47.9	10.4
	ぶ り 類	266	342	299	311	296	313	233	▲ 12.4	▲ 25.8
	ひ ら め ・ か れ い 類	312	261	256	256	233	237	197	▲ 37.0	▲ 17.0
	た ら 類	285	323	261	234	225	215	181	▲ 36.4	▲ 15.8
	うち、すけとうだら	165	164	116	100	98	97	76	▲ 53.7	▲ 21.7
	ほ っ け	69	47	43	35	39	31	26	▲ 62.2	▲ 16.2
	た い 類	157	153	151	151	156	152	119	▲ 24.3	▲ 21.7
	い か 類	802	654	663	655	551	506	518	▲ 35.4	▲ 2.4
うち、するめいか	489	395	390	375	277	264	286	▲ 41.5	▲ 8.2	
ほ た て が い	333	584	632	597	556	573	393	17.9	▲ 31.5	
上 記 以 外 の 魚 種	3,156	3,062	3,064	3,010	2,976	2,852	2,428	▲ 23.1	▲ 14.9	

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び「漁業産出額」

参考図表

2-3 海面養殖業主要魚種別生産量及び生産額の推移

〔単位〕数量：千t
金額：億円

		平成22年 (2010)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	増減率 (%)	
									令和2/平成22 (2020/2010)	令和2/元 (2020/2019)
生産量	合計	1,111	1,069	1,033	986	1,005	915	970	▲12.7	5.9
	ぶり類	139	140	141	139	138	136	138	▲1.0	0.8
	まだい	68	64	67	63	61	62	66	▲2.4	5.9
	ほたてがい	220	248	215	135	174	144	149	▲32.1	3.2
	かき類(殻付き)	200	164	159	174	177	162	159	▲20.6	▲1.6
	こんぶ類	43	39	27	32	34	33	30	▲29.9	▲7.6
	わかめ類	52	49	48	51	51	45	54	2.7	19.3
	のり類	329	297	301	304	284	251	289	▲12.0	15.1
上記以外の魚種	61	68	76	87	87	81	85	39.8	4.2	
生産額	合計	4,284(183)	4,866(193)	5,098(210)	5,250(271)	5,060(199)	5,007(205)	4,559(191)	6.4	▲8.9
	ぶり類	1,207(31)	1,230(29)	1,206(28)	1,223(31)	1,269(29)	1,323(35)	1,099(34)	▲8.9	▲16.9
	まだい	546(39)	477(38)	574(39)	598(46)	633(42)	582(46)	476(33)	▲12.7	▲18.2
	ほたてがい	425(81)	706(98)	732(107)	614(157)	520(95)	388(93)	340(98)	▲20.1	▲12.5
	かき類	343(7)	388(4)	360(6)	342(7)	341(6)	357(6)	331(6)	▲3.6	▲7.2
	こんぶ類	79(-)	88(-)	77(-)	95(-)	102(-)	104(-)	91(-)	15.0	▲12.0
	わかめ類	84(1)	80(0)	103(0)	108(0)	102(0)	122(0)	107(0)	27.6	▲12.3
	のり類	858(5)	855(4)	1,007(4)	1,172(5)	949(5)	947(5)	1,048(5)	22.1	10.7
上記以外の魚種	741(19)	1,042(20)	1,039(25)	1,099(24)	1,143(22)	1,184(19)	1,067(14)	43.9	▲9.9	

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び「漁業産出額」

注：1) 生産量の海藻類は生換算、貝類は殻付き重量である。

2) 海面養殖業の生産額は、種苗の生産額も含む。なお、()内は、種苗の生産額である。

2-4 内水面漁業・養殖業主要魚種別生産量及び産出額の推移

〔単位〕数量：千t
金額：億円

		平成22年 (2010)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	増減率 (%)	
									令和2/平成22 (2020/2010)	令和2/元 (2020/2019)
生産量	合計	79	69	63	62	57	53	51	▲35.9	▲4.1
	内水面漁業	40	33	28	25	27	22	22	▲45.4	▲0.1
	さけ・ます類	14	13	8	6	8	7	7	▲46.3	11.9
	あゆ	3	2	2	2	2	2	2	▲39.1	1.5
	しじみ	11	10	10	10	10	10	9	▲20.5	▲6.6
	上記以外の魚種	11	8	7	7	7	4	3	▲70.9	▲6.2
	内水面養殖業	39	36	35	37	30	31	29	▲26.2	▲6.8
	ます類	9	8	8	8	7	7	6	▲37.2	▲18.1
	あゆ	6	5	5	5	4	4	4	▲28.8	▲1.1
	こい	4	3	3	3	3	3	2	▲39.1	▲18.0
うなぎ	21	20	19	21	15	17	17	▲18.2	▲1.6	
産出額	合計	792	992	1,091	1,148	1,167	1,190	1,100	38.8	▲7.6
	内水面漁業	226	184	198	198	185	164	165	▲27.2	0.8
	さけ・ます類	21	19	16	14	15	13	16	▲24.3	18.4
	あゆ	84	67	84	87	81	78	74	▲11.3	▲5.1
	しじみ	69	55	56	58	50	46	51	▲25.1	12.8
	上記以外の魚種	54	42	42	39	39	27	24	▲55.5	▲11.1
	内水面養殖業	566	809	894	949	982	1027	935	65.1	▲8.9
	ます類	73	76	86	87	87	83	70	▲4.3	▲15.6
	あゆ	66	69	69	73	65	62	62	▲6.1	1.1
	こい	17	15	15	14	14	13	10	▲38.6	▲17.5
うなぎ	383	581	650	697	670	742	661	72.4	▲10.8	
上記以外の魚種	26	67	74	78	146	128	131	400.6	2.4	
(参考) 種苗生産額	36	44	47	49	46	30	28	▲23.1	▲7.2	

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び「漁業産出額」

注：1) 内水面漁業の漁獲量は、平成22(2010)年は主要108河川24湖沼、平成27(2015)～30(2018)年は主要112河川24湖沼、令和元(2019)年以降は主要113河川24湖沼の値である。

2) 内水面漁業の漁獲量及び産出額には、遊漁者(レクリエーションを主な目的として水産動植物を採捕する者)による採捕を含まない。

3) 内水面養殖業の産出額には、種苗の生産額を含まない。



2-5 漁業・養殖業都道府県別生産量・産出額（令和2年）

	生産量 (t)									産出額 (百万円)			
	合計	海面			内水面			海面					
		計	漁業	養殖業	計	漁業	養殖業	計	漁業	養殖業			
全 国	4,233,815	4,182,983	3,213,334	順位	969,649	50,832	21,745	順位	29,087	1,210,330	773,483	順位	436,847
北海道	996,240	989,026	894,911	1	94,115	7,214	7,106	1	108	202,084	180,054	1	22,030
青森	175,855	172,491	91,117	10	81,374	3,364	3,300	3	64	45,353	34,786	5	10,567
岩手	96,550	96,102	65,683	14	30,419	448	236	13	212	30,568	23,776	7	6,793
宮城	249,251	248,959	165,161	5	83,798	292	105	18	187	71,847	48,732	3	23,116
秋田	6,362	6,064	5,979	37	85	298	244	12	54	2,660	2,638	35	22
山形	4,945	4,399	4,399	38	...	546	448	6	98	2,151	2,151	36	...
福島	72,734	71,582	71,505	13	77	1,152	9	34	1,143	9,919	9,888	21	31
茨城	x	x	302,213	2	x	3,358	2,438	4	920	22,536	x	...	x
栃木	1,061	1,061	356	8	705
群馬	273	273	1	40	272
埼玉	3	3	2	39	1
千葉	103,423	103,285	99,143	8	4,142	138	50	23	88	25,158	23,223	9	1,934
東京	x	x	45,535	19	x	95	61	22	34	14,967	x	...	x
神奈川	31,799	31,415	30,599	22	816	384	345	9	39	14,481	14,052	17	429
新潟	28,571	27,996	26,679	23	1,317	575	411	7	164	10,439	9,762	22	678
富山	26,300	26,134	26,115	24	19	166	120	16	46	11,600	11,572	20	28
石川	54,567	54,532	53,224	18	1,308	35	19	29	16	15,264	14,944	16	320
福井	12,402	12,367	12,073	33	294	35	28	28	7	7,604	7,155	26	450
山梨	942	942	3	38	939
長野	1,356	1,356	50	23	1,306
岐阜	1,433	1,433	217	14	1,216
静岡	x	186,500	184,055	4	2,445	x	x	...	2,499	45,860	43,243	4	2,617
愛知	69,437	63,751	53,459	17	10,292	5,686	18	30	5,668	15,979	13,123	18	2,856
三重	144,968	144,639	124,667	6	19,972	329	82	20	247	36,098	21,238	11	14,860
滋賀	1,122	1,122	833	5	289
京都	10,680	10,660	9,716	34	944	20	10	33	10	3,905	2,898	34	1,007
大阪	x	15,399	14,884	28	515	x	3,741	3,623	32	117
兵庫	118,122	118,081	41,591	20	76,490	41	7	35	34	48,837	23,661	8	25,177
奈良	13	13	0	41	13
和歌山	17,023	16,368	13,065	30	3,303	655	7	35	648	12,693	6,164	27	6,529
鳥取	93,613	93,275	91,390	9	1,885	338	293	10	45	20,653	18,546	12	2,107
島根	93,927	89,795	89,364	11	431	4,132	4,121	2	11	17,492	16,878	15	615
岡山	24,362	24,048	2,579	39	21,469	314	250	11	64	6,709	1,642	37	5,067
広島	118,200	118,116	18,958	26	99,158	84	17	31	67	22,576	6,134	28	16,442
山口	23,840	23,798	22,811	25	987	42	15	32	27	14,056	12,315	19	1,741
徳島	21,456	20,997	9,368	35	11,629	459	33	26	426	9,749	4,524	31	5,225
香川	35,027	35,018	12,113	32	22,905	9	9	16,697	5,488	29	11,210
愛媛	148,213	148,014	81,166	12	66,848	199	146	15	53	75,639	17,042	14	58,598
高知	83,100	82,745	64,547	15	18,198	355	117	17	238	42,441	24,023	6	18,418
福岡	66,965	66,656	16,411	27	50,245	309	81	21	228	30,549	8,888	25	21,661
佐賀	83,226	83,216	6,531	36	76,685	10	5	37	5	30,561	3,264	33	27,298
長崎	251,077	251,072	228,051	3	23,021	5	5	89,257	56,443	2	32,814
熊本	66,444	66,070	13,080	29	52,990	374	35	25	339	33,441	4,741	30	28,701
大分	59,324	59,068	35,518	21	23,550	256	93	19	163	32,525	9,352	24	23,172
宮崎	135,571	132,286	118,947	7	13,339	3,285	33	26	3,252	30,901	22,388	10	8,513
鹿児島	x	102,731	53,799	16	48,932	x	x	...	7,125	64,892	18,224	13	46,667
沖縄	x	38,579	12,928	31	25,651	x	18,443	9,410	23	9,032

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び「漁業産出額」

注：1) 海面養殖業生産量には種苗養殖は含まない。

2) 都道府県別に取りまとめを行っていない捕鯨業は含まない。

2-6 水産物の主要品目別輸入数量及び金額の推移

〔単位〕数量：千t
金額：億円

		平成23年 (2011)	28 (2016)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)	増減率 (%)	
							令和3/平成23 (2021/2011)	令和3/2 (2021/2020)
数	水産物合計	2,694	2,381	2,468	2,254	2,202	▲18.3	▲2.3
	さけ・ます類	258	230	241	251	245	▲5.1	▲2.2
	かつお・まぐろ類	245	238	220	211	199	▲18.8	▲5.6
	えび	210	167	159	150	159	▲24.4	5.5
	えび調製品	77	60	66	62	63	▲18.0	1.3
	かに	49	36	28	21	22	▲55.2	6.4
	たら類(すり身含む)	102	155	154	125	136	33.1	8.9
	いか	90	99	106	102	103	14.3	0.9
	うなぎ調製品	15	15	15	17	21	44.8	22.2
	たこ	38	47	35	38	26	▲31.1	▲30.0
	いか調製品	48	50	49	45	47	▲1.9	4.3
	たらの卵	40	36	44	44	35	▲13.8	▲21.6
	魚粉	234	154	213	203	146	▲37.7	▲28.1
	真珠(t)	74	63	51	26	38	▲49.4	44.9
	量	うなぎ(活)	10	7	7	5	7	▲27.2
うなぎ稚魚(活)(t)		10	9	12	6	8	▲24.3	30.9
その他		1,277	1,086	1,132	979	997	▲21.9	1.8
水産物合計(A)		14,547	15,979	17,404	14,640	16,099	10.7	10.0
さけ・ます類		1,594	1,795	2,218	1,996	2,200	38.0	10.2
かつお・まぐろ類		1,840	1,891	1,909	1,603	1,861	1.1	16.1
えび		1,854	1,987	1,828	1,600	1,784	▲3.8	11.5
えび調製品		621	694	744	684	722	16.2	5.5
かに		598	655	649	473	673	12.5	42.2
たら類(すり身含む)		261	524	611	462	553	112.2	19.7
いか		420	501	637	570	536	27.5	▲6.0
うなぎ調製品		340	311	349	299	438	28.7	46.4
たこ		282	363	354	337	318	12.8	▲5.8
いか調製品		230	250	307	291	299	30.0	2.6
額		たらの卵	308	277	282	255	253	▲17.8
	魚粉	273	236	317	295	232	▲15.1	▲21.6
	真珠	349	406	388	141	228	▲34.7	62.1
	うなぎ(活)	241	215	247	170	151	▲37.3	▲11.1
	うなぎ稚魚(活)	103	141	236	61	54	▲46.9	▲10.6
	その他	5,233	5,733	6,330	5,401	5,788	10.6	7.2
	我が国の総輸入額(B)	681,112	660,420	785,995	680,108	847,607	24.4	24.6
	(A) / (B) (%)	2.1	2.4	2.2	2.2	1.9		

資料：財務省「貿易統計」

注：1) 数量は、通関時の形態による重量である（以下「貿易統計」においては同じ）。

2) かにについては、このほかにかに調製品が輸入されている。

2-7 輸入金額上位3か国からの主要輸入品目の金額

(単位：億円)

	令和2年 (2020)	3 (2021)	増減率 (%) 令和3/2 (2021/2020)
中国(香港、マカオを除く)	2,632	2,904	10.3
うなぎ調製品	296	431	45.5
いか調製品	258	276	6.8
いか	266	265	▲0.6
チリ	1,493	1,475	▲1.2
さけ・ます類	1,202	1,249	3.9
うに	104	78	▲24.3
魚粉	69	41	▲39.9
ロシア	1,034	1,381	33.6
かに	292	380	29.9
さけ・ます	189	200	5.6
たらの卵	121	132	9.9

資料：財務省「貿易統計」



2-8 水産物の主要品目別輸出数量及び金額の推移

〔単位〕数量：千t
金額：億円

		平成23年 (2011)	28 (2016)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)	増減率 (%)	
							令和3/平成23 (2021/2011)	令和3/2 (2021/2020)
数	水産物合計	424	537	635	630	659	55.4	4.7
	ほたてがい	10	62	84	78	116	1,028.3	49.1
	ぶり	5	8	30	38	45	782.6	19.1
	さば	98	211	169	172	177	80.8	2.9
	かつお・まぐろ類	69	24	42	64	58	▲15.9	▲8.7
	真珠(t)	19	28	34	12	17	▲8.5	49.7
	なまこ調製品(t)	195	649	613	671	400	104.6	▲40.4
	水産練り製品	7	11	13	12	13	83.6	11.5
	ほたてがい調製品(t)	-	2,070	1,172	899	1,525	-	69.6
	いわし	13	39	96	91	90	606.7	▲1.8
	貝柱調製品(t)	1,983	775	840	1,167	994	▲49.9	▲14.8
	たい	3	4	4	6	8	171.5	22.3
	さけ・ます類	22	18	10	10	8	▲62.3	▲18.3
	すけとうだら	40	15	14	11	14	▲64.6	29.2
	ほや	1	3	6	4	3	238.5	▲6.3
	さんま	13	5	7	3	2	▲82.4	▲19.4
その他	123	101	134	114	95	▲22.4	▲16.5	
量	水産物合計(A)	1,741	2,640	2,873	2,276	3,015	73.2	32.5
	ほたてがい	113	548	447	314	639	467.4	103.3
	ぶり	78	135	229	173	246	217.2	42.6
	さば	88	180	206	204	220	151.3	7.7
	かつお・まぐろ類	129	98	153	204	204	58.2	0.1
	真珠	165	304	329	76	171	3.3	124.6
	なまこ調製品	118	182	208	181	155	31.7	▲14.4
	水産練り製品	51	93	112	104	113	118.8	8.4
	ほたてがい調製品	-	128	76	46	81	-	73.9
	いわし	7	35	80	77	74	926.1	▲3.9
	貝柱調製品	94	60	80	72	60	▲36.7	▲16.6
	たい	23	30	35	38	50	119.8	33.4
	さけ・ます類	67	65	42	39	35	▲47.1	▲10.1
	すけとうだら	41	24	21	17	20	▲51.9	20.1
	ほや	2	8	12	8	8	269.8	▲5.9
	さんま	14	6	10	6	6	▲54.0	15.2
その他	868	745	834	716	932	7.3	30.1	
額	我が国の総輸出額(B)	655,465	700,358	769,317	684,005	830,931	26.8	21.5
	(A) / (B) (%)	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4		

資料：財務省「貿易統計」
注：真珠は、各種製品を除く。

2-9 輸出金額上位3か国（地域）への主要輸出品目の金額

(単位：億円)

	令和2年 (2020)	3 (2021)	増減率 (%) 令和3/2 (2021/2020)
香港	549	668	21.6
真珠	53	150	182.9
なまこ調製品	154	120	▲21.9
貝柱調製品	58	44	▲25.3
中国(香港、マカオ除く)	312	590	88.9
ほたてがい	146	337	130.4
くらげ	4	37	875.5
かつお・まぐろ	11	25	141.7
米国	238	423	77.3
ぶり	96	158	64.8
水産練り製品	16	60	278.7
ほたてがい	31	40	29.8

資料：財務省「貿易統計」
注：なまこ調製品は、干しなまこを含む。

2-10 主要品目別産地価格の推移

(単位：円/kg)

	平成23年 (2011)	28 (2016)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)	増減率 (%)	
						令和3/平成23 (2021/2011)	令和3/2 (2021/2020)
水産物平均 (下記加重平均)	163	172	161	154	155	▲ 5.1	0.6
まぐろ 生鮮	1,843	1,776	2,090	1,920	1,909	3.6	▲ 0.5
冷凍	2,451	1,789	1,738	1,659	1,870	▲23.7	12.8
びんなが 生鮮	291	413	478	336	359	23.4	7.0
冷凍	252	350	449	288	401	59.1	39.0
めばち 生鮮	1,259	1,461	1,287	1,241	1,383	9.8	11.5
冷凍	1,045	1,025	975	827	994	▲ 4.9	20.2
きはだ 生鮮	836	739	898	845	899	7.5	6.4
冷凍	453	402	389	327	513	13.2	56.9
かつお 生鮮	354	354	314	350	215	▲39.3	▲38.6
冷凍	160	203	171	189	185	15.5	▲ 2.3
まいわし	50	52	41	41	41	▲18.5	0.2
うるめいわし	53	62	83	75	57	6.7	▲24.4
かたくちいわし	41	50	64	51	40	▲ 3.1	▲21.4
まあじ	181	191	239	229	213	17.6	▲ 7.1
むろあじ	103	120	118	117	94	▲ 8.7	▲19.4
さば類	90	80	105	109	110	22.7	1.4
さんま	111	214	293	473	627	465.0	32.5
ほっけ	69	213	74	50	65	▲ 6.2	29.2
するめいか 生鮮	227	532	645	561	588	159.2	4.9
冷凍	274	633	876	775	683	149.8	▲11.8
うち (冷凍、近海)	274	642	876	775	683	149.4	▲11.8
うち (冷凍、遠洋)	246	398	-	-	-

資料：水産庁「水産物流通調査」に基づき水産庁で作成

注：1) 特に表示のない品目は、生鮮品・冷凍品の分類を行っていない。

2) 平成23 (2011) 年は210漁港、平成28 (2016) 年は208漁港、令和元 (2019) 年及び令和2 (2020) 年は209漁港、令和3 (2021) 年は48漁港の価格である。

4) 令和3 (2021) 年の数値は概算値。

2-11 魚介類国内消費仕向量及び自給率の推移

(単位：千t)

	平成22年度 (2010)	27 (2015)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	増減率 (%)	
						令和2/平成22 (2020/2010)	令和2/元 (2020/2019)
合計	8,701	7,663	7,154	7,192	6,794	▲21.9	▲ 5.5
食用魚介類	6,765	6,082	5,676	5,640	5,264	▲22.2	▲ 6.7
生鮮・冷凍	2,748	2,378	1,889	1,886	1,572	▲42.8	▲16.6
塩干・くん製・その他	3,701	3,366	3,439	3,413	3,367	▲ 9.0	▲ 1.3
かん詰	316	338	348	341	325	2.8	▲ 4.7
非食用 (飼肥料)	1,936	1,581	1,478	1,552	1,530	▲21.0	▲ 1.4
国民1人・1年当たり供給純食料 (kg)	29.4	25.7	23.7	25.3	23.4	▲20.4	▲ 7.5
食用魚介類自給率 (%)	62	59	59	55	57	▲ 8.1	3.6
(参考) 非食用を含む自給率 (%)	55	55	55	53	55	0.0	3.8

資料：農林水産省「食料需給表」

注：1) 自給率 = (国内生産量/国内消費仕向量) × 100

2) 数値は原魚換算したものであり (国民1人・1年当たり供給純食料を除く)、海藻類、捕鯨業により捕獲されたもの及び鯨類科学調査の副産物を含まない。

3) 純食料とは、粗食料から通常の食習慣において廃棄される部分 (魚の頭、内臓、骨等) を除いた可食部分のみの数量であり、粗食料とは、廃棄される部分も含んだ食用魚介類の数量。

4) 令和2 (2020) 年の数値は概算値。



2-12 年間1人当たりの魚介類品目別家計消費の推移 (全国)

〔単位〕数量：g
金額：円

	平成23年 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)	増減率 (%)			
								令和3/平成23 (2021/2011)	令和3/2 (2021/2020)		
数	生鮮魚介計	10,411	9,106	8,312	7,874	7,733	8,105	7,838	▲24.7	▲3.3	
	鮮魚小計	9,416	8,299	7,556	7,167	7,000	7,316	7,087	▲24.7	▲3.1	
	まぐろ	769	756	712	647	650	688	681	▲11.4	▲1.0	
	あじ	462	408	376	313	284	278	265	▲42.8	▲5.0	
	いわし	247	256	244	215	185	196	151	▲38.8	▲22.7	
	かつお	322	326	269	273	298	243	330	2.3	35.5	
	かれい	392	297	276	239	235	252	234	▲40.2	▲6.9	
	さけ	937	918	835	841	848	962	933	▲0.4	▲3.0	
	さば	379	323	304	324	291	303	278	▲26.5	▲8.2	
	さんま	558	408	308	381	258	149	113	▲79.7	▲24.0	
	たい	205	195	178	142	138	189	204	▲0.5	7.9	
	ぶり	697	614	629	543	517	589	553	▲20.7	▲6.1	
	いか	802	527	411	387	371	414	394	▲50.8	▲4.7	
	たこ	220	231	234	181	181	219	178	▲19.2	▲18.6	
	えび	623	466	449	452	452	498	497	▲20.2	▲0.3	
	かに	201	163	147	120	122	133	130	▲35.4	▲2.4	
	量	貝類小計	986	802	749	699	720	772	738	▲25.1	▲4.3
		あさり	357	294	285	237	244	252	220	▲38.4	▲12.6
		しじみ	111	94	91	96	103	88	64	▲42.0	▲27.2
		かき	204	158	168	157	140	148	177	▲13.2	19.6
ほたてがい		211	147	111	132	152	194	191	▲9.6	▲1.3	
塩干魚介計		2,913	2,608	2,549	2,331	2,262	2,454	2,258	▲22.5	▲8.0	
塩さけ		494	510	476	429	445	485	464	▲6.1	▲4.3	
(参考) 生鮮肉計		14,011	15,787	16,038	16,459	16,395	18,160	17,825	27.2	▲1.8	
牛肉		2,202	2,148	2,208	2,254	2,201	2,436	2,300	4.4	▲5.6	
豚肉		6,165	6,829	6,976	7,221	7,131	7,793	7,698	24.9	▲1.2	
金	魚介類支出計	25,569	26,668	25,939	24,834	24,869	26,217	25,609	0.2	▲2.3	
	生鮮魚介計	14,724	15,324	14,647	13,926	13,935	14,783	14,543	▲1.2	▲1.6	
	鮮魚小計	13,440	14,097	13,467	12,805	12,805	13,572	13,346	▲0.7	▲1.7	
	まぐろ	1,708	1,915	1,845	1,746	1,754	1,837	1,896	11.0	3.2	
	あじ	440	460	438	383	361	363	340	▲22.7	▲6.2	
	いわし	177	215	206	184	156	156	132	▲25.4	▲15.1	
	かつお	469	542	468	472	486	440	518	10.4	17.8	
	かれい	439	383	370	324	308	315	303	▲30.9	▲3.7	
	さけ	1,310	1,560	1,507	1,579	1,622	1,781	1,736	32.5	▲2.6	
	さば	337	322	316	328	312	319	288	▲14.7	▲9.9	
	さんま	403	359	295	372	246	182	152	▲62.4	▲16.6	
	たい	358	394	368	298	284	381	417	16.5	9.3	
	ぶり	1,076	1,056	1,070	969	939	1,049	1,005	▲6.6	▲4.3	
	いか	771	694	627	594	588	654	626	▲18.8	▲4.3	
	たこ	391	471	478	408	423	502	422	7.8	▲16.1	
	えび	1,073	1,041	1,012	951	962	1,057	1,073	▲0.1	1.5	
	かに	593	575	583	472	528	584	594	0.2	1.6	
	額	貝類小計	1,284	1,228	1,180	1,120	1,130	1,211	1,197	▲6.7	▲1.1
		あさり	335	306	298	247	254	264	235	▲30.0	▲11.0
		しじみ	145	136	133	133	134	124	99	▲31.6	▲20.4
かき		300	322	320	294	261	266	295	▲1.8	10.7	
ほたてがい		354	316	274	316	346	417	421	18.9	1.0	
塩干魚介計		4,756	4,868	4,816	4,589	4,500	4,708	4,483	▲5.8	▲4.8	
塩さけ		620	742	756	723	735	752	721	16.3	▲4.1	
魚肉練製品		2,843	2,922	2,903	2,763	2,822	2,916	2,915	2.6	▲0.0	
他の魚介加工品		3,246	3,555	3,573	3,556	3,612	3,810	3,668	13.0	▲3.7	
(参考) 生鮮肉計		19,551	23,924	24,464	24,671	24,086	27,101	26,699	36.6	▲1.5	
牛肉	6,038	7,303	7,369	7,339	7,131	8,025	7,922	31.2	▲1.3		
豚肉	8,033	9,854	10,077	10,266	9,979	11,139	10,885	35.5	▲2.3		

資料：総務省「家計調査」(二人以上の世帯)に基づき水産庁で作成

参考図表

3 国 際

3-1 世界の漁業・養殖業生産量の推移

(単位：万 t)

国名	昭和35年 (1960)	45 (1970)	55 (1980)	平成2 (1990)	12 (2000)	22 (2010)	令和元 (2019)	2 (2020)	増減率 (%)	
									令和2/平成12 (2020/2000)	令和2/元 (2020/2019)
世界計	3,687	6,759	7,600	10,319	13,770	16,624	21,310	21,402	55.4	0.4
漁業	3,476	6,387	6,821	8,591	9,468	8,825	9,330	9,144	▲ 3.4	▲ 2.0
養殖業	211	371	779	1,728	4,302	7,799	11,980	12,258	185.0	2.3
中国	317	397	625	1,511	4,457	6,284	8,259	8,393	88.3	1.6
漁業	222	249	315	671	1,482	1,505	1,417	1,345	▲ 9.3	▲ 5.1
養殖業	96	148	311	839	2,975	4,779	6,842	7,048	136.9	3.0
インドネシア	76	126	188	324	515	1,167	2,276	2,183	323.8	▲ 4.1
漁業	68	115	165	264	416	539	734	699	68.1	▲ 4.7
養殖業	8	11	23	60	99	628	1,543	1,485	1,393.9	▲ 3.8
インド	116	176	245	388	567	851	1,341	1,416	149.9	5.6
漁業	112	164	208	286	373	472	548	552	48.2	0.8
養殖業	4	12	37	102	194	379	793	864	344.8	8.9
ベトナム	47	62	56	94	214	495	794	804	275.0	1.2
漁業	44	55	46	78	163	225	344	342	110.0	▲ 0.5
養殖業	4	7	10	16	51	270	450	461	798.6	2.5
EU・英国	582	822	853	911	825	677	626	596	▲27.8	▲ 4.8
漁業	556	775	781	807	685	550	489	464	▲32.2	▲ 4.9
養殖業	26	47	72	104	141	127	138	132	▲6.6	▲ 4.5
ペルー	350	1,248	271	687	1,067	439	501	582	▲45.4	16.1
漁業	350	1,248	271	687	1,066	431	485	568	▲46.8	17.0
養殖業	0	0	0	1	1	9	16	14	2,080.6	▲10.8
ロシア	…	…	…	766	410	420	523	537	30.9	2.7
漁業	…	…	…	740	403	408	498	508	26.2	2.0
養殖業	…	…	…	26	8	12	25	29	277.5	17.3
米国	282	296	387	594	525	489	531	470	▲10.4	▲11.5
漁業	271	279	370	562	479	440	482	425	▲11.2	▲11.8
養殖業	10	17	17	32	46	50	49	45	▲ 1.8	▲ 8.5
バングラデシュ	40	69	65	85	166	304	438	450	171.1	2.7
漁業	35	63	56	65	100	173	190	192	91.1	1.3
養殖業	5	6	9	19	66	131	249	258	293.2	3.8
フィリピン	50	110	172	252	302	505	419	424	40.3	1.2
漁業	44	100	138	185	192	250	183	191	▲ 0.3	4.6
養殖業	6	10	33	67	110	255	236	232	111.0	▲ 1.5
日本	619	931	1,112	1,105	638	531	420	423	▲33.7	0.9
漁業	589	872	1,004	968	509	416	325	324	▲36.5	▲ 0.5
養殖業	30	60	109	137	129	115	95	100	▲22.7	5.5
ノルウェー	139	298	254	195	338	386	393	409	21.0	4.1
漁業	139	298	253	180	289	284	248	260	▲10.0	5.0
養殖業	0	0	1	15	49	102	145	149	203.3	2.6

資料：FAO「Fishstat (Global capture production、Global aquaculture production)」(日本以外)及び農林水産省「漁業・養殖業生産統計」(日本)に基づき水産庁で作成



3-2 食用魚介類供給量の推移

(1) 主要国別供給量の推移

(単位：万 t)

	昭和36年 (1961)	45 (1970)	55 (1980)	平成2 (1990)	12 (2000)	22 (2010)	25 (2013)	29 (2017)	増減率 (%)	
									平成29/昭和36 (2017/1961)	平成29/25 (2017/2013)
世界	2,749	3,968	5,053	7,121	9,460	12,771	13,795	15,233	454.1	10.4
中国	284	313	433	1,220	3,117	4,376	4,866	5,519	1846.3	13.4
EU・英国	562	711	722	900	1,016	1,174	1,154	1,187	111.0	2.8
インドネシア	93	119	176	267	431	676	890	1,183	1165.6	32.8
インド	85	156	217	326	466	690	759	924	985.7	21.8
米国	247	304	358	558	627	668	673	728	195.5	8.2
日本	476	636	767	880	677	677	628	582	22.3	▲ 7.4
その他	1,002	1,730	2,381	2,971	3,127	4,510	4,825	5,111	409.9	5.9

資料：FAO「FAOSTAT (Food Balance Sheets)」(日本以外)及び農林水産省「食料需給表」(日本)

注：1) 中国は香港、マカオ及び台湾を除く数値。

2) 「FAOSTAT (Food Balance Sheets)」の数値は令和4年4月1日現在の数値。

(2) 国民1人1年当たりの供給量の推移

(単位：kg/人年)

	昭和36年 (1961)	45 (1970)	55 (1980)	平成2 (1990)	12 (2000)	22 (2010)	30 (2018)	令和元 (2019)	増減率 (%)	
									令和元/昭和36 (2019/1961)	令和元/平成30 (2019/2018)
世界平均	9.0	10.9	11.5	13.6	15.7	18.6	20.1	19.9	120.4	▲ 1.1
日本	50.4	61.3	65.5	71.2	67.2	52.8	44.7	44.6	▲ 11.5	▲ 0.2
インドネシア	10.3	10.4	12.1	14.9	20.6	28.0	44.2	43.7	325.1	▲ 1.1
中国	4.3	3.8	4.4	10.5	24.4	32.0	38.7	38.5	797.2	▲ 0.4
EU・英国	14.5	17.1	16.6	20.1	20.8	23.2	23.1	23.1	59.4	0.2
米国	13.0	14.5	15.5	21.9	22.0	21.4	22.3	22.1	70.0	▲ 0.6
インド	1.9	2.8	3.1	3.8	4.5	5.6	6.8	6.8	263.4	▲ 1.0

資料：FAO「FAOSTAT (Food Balance Sheets)」(日本以外)及び農林水産省「食料需給表」(日本)

注：1) 中国は香港、マカオ及び台湾を除く数値。

2) 「FAOSTAT (Food Balance Sheets)」の数値は令和4年4月1日現在の数値。

3-3 マグロ類に関する情報

(1) 国・地域別漁獲量

(単位：t)

	昭和35年 (1960)	45 (1970)	55 (1980)	平成2 (1990)	12 (2000)	22 (2010)	令和元 (2019)	2 (2020)	増減率 (%)	
									令和2/平成12 (2020/2000)	令和2/元 (2020/2019)
インドネシア	2,837	7,172	27,827	82,308	199,616	150,403	299,923	320,294	60.5	6.8
EU・英国	78,047	83,381	156,869	288,523	269,713	183,979	198,356	189,346	▲ 29.8	▲ 4.5
日本	381,365	278,944	361,340	277,518	275,474	207,094	160,251	176,236	▲ 36.0	10.0
台湾	8,200	95,664	109,618	191,111	238,410	169,283	161,295	138,136	▲ 42.1	▲ 14.4
メキシコ	3,500	7,000	21,118	118,114	105,708	109,319	116,313	110,963	5.0	▲ 4.6
フィリピン	13,579	31,836	47,298	99,742	116,334	116,734	74,592	91,365	▲ 21.5	22.5
その他	151,116	253,299	346,873	510,914	811,547	924,698	1,195,591	1,216,300	49.9	1.7
合計	638,644	757,296	1,070,943	1,568,230	2,016,802	1,861,510	2,206,320	2,242,640	11.2	1.6

資料：FAO「Fishstat (Global capture production)」(日本以外)及び農林水産省「漁業・養殖業生産統計」(日本)

注：クロマグロ、ミナミマグロ、キハダ、メバチ及びビンナガの合計値である。

(2) 魚種別漁獲量

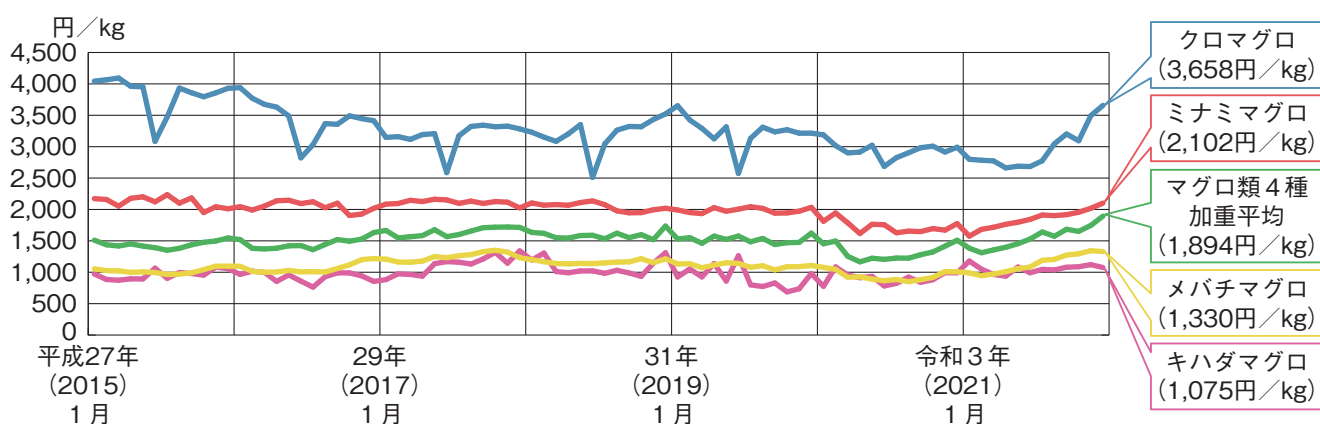
(単位：t)

	昭和35年 (1960)	45 (1970)	55 (1980)	平成2 (1990)	12 (2000)	22 (2010)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	増減率 (%)	
										令和2/平成12 (2020/2000)	令和2/元 (2020/2019)
キハダ	296,867	367,925	564,301	1,021,906	1,255,365	1,218,234	1,552,319	1,565,309	1,578,365	25.7	0.8
メバチ	81,032	146,851	232,737	270,565	469,967	362,979	398,981	365,333	367,114	▲ 21.9	0.5
ビンナガ	161,276	169,953	195,189	230,667	220,196	240,071	230,312	220,756	238,136	8.1	7.9
クロマグロ	95,924	64,980	67,309	39,578	55,630	29,868	34,825	37,693	43,459	▲ 21.9	15.3
ミナミマグロ	3,545	7,587	11,407	5,514	15,644	10,358	16,482	17,229	15,567	▲ 0.5	▲ 9.6
合計	638,644	757,296	1,070,943	1,568,230	2,016,802	1,861,510	2,232,919	2,206,320	2,242,640	11.2	1.6

資料：FAO「Fishstat (Global capture production)」(日本以外)及び農林水産省「漁業・養殖業生産統計」(日本)

注：我が国のミナミマグロは、平成7(1995)年にクロマグロから分離された。平成6(1994)年まではクロマグロの漁獲量に含まれる。

(3) 冷凍マグロ4種の消費地市場(東京都) 価格の推移



資料：東京都中央卸売市場資料に基づき水産庁で作成

(4) 我が国への供給量の推移

(単位：万t)

	平成22年 (2010)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	増減率 (%)	
								令和2/平成22 (2020/2010)	令和2/元 (2020/2019)
国内生産量	20.7	20.4	18.1	18.4	18.2	18.0	19.4	▲ 6.1	8.1
輸入量	19.9	20.6	21.0	19.7	18.3	17.7	17.8	▲ 10.5	0.5
国内供給量	40.6	41.0	39.0	38.1	36.5	35.7	37.2	▲ 8.3	4.3

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び財務省「貿易統計」に基づき水産庁で作成

注：1) 平成24(2012)年以降、「漁業・養殖業生産統計」の海面養殖業において、「くろまぐろ」の項目が「その他の魚類」の項目から分離されたため、国内生産量及び国内供給量にはその値が含まれている。このため、それ以前とは連続しない。

2) クロマグロ、ミナミマグロ、キハダ、メバチ及びビンナガの合計値である。

3) 輸入量は、生鮮冷蔵・冷凍の製品重量である。



4 漁業経営・生産構造

4-1 漁業経営体数の推移

(単位：経営体)

		平成10年 (1998)	15 (2003)	20 (2008)	25 (2013)	30 (2018)	増減率 (%)		
							平成30/10 (2018/1998)	平成30/25 (2018/2013)	
合	計	150,586	132,417	115,196	94,507	79,067	▲47.5	▲16.3	
海面 漁業	計	122,980	109,350	95,550	79,563	65,117	▲47.1	▲18.2	
	漁船非使用	4,365	3,883	3,694	3,032	2,595	▲40.5	▲14.4	
	無動力漁船	285	198	157	97	47	▲83.5	▲51.5	
	船外機付漁船	…	…	24,161	20,709	17,364	…	▲16.2	
	動力漁船計	111,999	99,692	62,877	51,606	41,875	▲62.6	▲18.9	
	1トン未満	34,460	30,951	3,448	2,770	2,002	▲94.2	▲27.7	
	1～3	26,255	22,254	18,077	14,109	10,652	▲59.4	▲24.5	
	3～5	32,169	29,010	25,628	21,080	16,810	▲47.7	▲20.3	
	5～10	11,207	10,494	9,550	8,247	7,495	▲33.1	▲9.1	
	10～20	5,071	4,602	4,200	3,643	3,339	▲34.2	▲8.3	
	20～30	769	661	610	559	494	▲35.8	▲11.6	
	30～50	561	537	485	466	430	▲23.4	▲7.7	
	50～100	555	455	351	293	252	▲54.6	▲14.0	
	100～200	380	313	275	252	233	▲38.7	▲7.5	
	200～500	283	197	115	76	64	▲77.4	▲15.8	
	500～1,000	150	107	67	55	50	▲66.7	▲9.1	
	1,000～3,000	131	104	68	53	52	▲60.3	▲1.9	
	3,000トン以上	8	7	3	3	2	▲75.0	▲33.3	
		大型定置網	1,068	969	1,086	1,252	943	▲11.7	▲24.7
		小型定置網	5,042	4,457	3,575	2,867	2,293	▲54.5	▲20.0
	地びき網	221	151	…	…	…	…	…	
海面 養殖業	計	27,606	23,067	19,646	14,944	13,950	▲49.5	▲6.7	
	のり類	7,733	6,065	4,868	3,819	3,214	▲58.4	▲15.8	
	かき類	3,352	3,308	2,879	2,018	2,067	▲38.3	▲2.4	
	真珠	1,699	1,358	971	680	594	▲65.0	▲12.6	
	真珠母貝	1,143	683	448	276	248	▲78.3	▲10.1	
	わかめ類	3,205	2,383	2,356	2,029	1,835	▲42.7	▲9.6	
	ぶり類	1,284	1,023	839	632	520	▲59.5	▲17.7	
	ほたてがい	4,363	3,859	3,411	2,466	2,496	▲42.8	▲1.2	
	まだい	1,258	1,009	753	535	445	▲64.6	▲16.8	
	まぐろ類	…	…	39	63	69	…	▲9.5	
	その他	3,569	3,379	3,082	2,426	2,462	▲31.0	▲1.5	
沿岸漁業経営体計		142,678	125,434	109,022	89,107	74,151	▲48.0	▲16.8	
中小漁業経営体計		7,769	6,872	6,103	5,344	4,862	▲37.4	▲9.0	
大規模漁業経営体計		139	111	71	56	54	▲61.2	▲3.6	

資料：農林水産省「漁業センサス」

- 注：1) 漁業経営体とは、過去1年間に利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所をいう（ただし、過去1年間における漁業の海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は除く）。
- 2) 沿岸漁業経営体とは、漁船非使用、無動力漁船、船外機付漁船、使用動力漁船合計総トン数10トン未満、定置網及び海面養殖の経営体をいい、中小漁業経営体とは、使用動力漁船合計総トン数10トン以上1,000トン未満の経営体をいい、大規模漁業経営体とは、使用動力漁船合計総トン数1,000トン以上の経営体をいう。
- 3) 平成15（2003）年以前については、船外機付漁船は1トン未満の動力漁船に含まれ、海面養殖業のまぐろ類はその他に含まれる。
- 4) 大型定置網には、さけ定置網を含める。
- 5) 平成20（2008）年以降の地びき網については、階層区分から除外し、使用した漁船の状況について該当する階層に振り分けた。
- 6) 平成30（2018）年の海面養殖業のまぐろ類はくろまぐろ養殖である。

4-2 経営組織別漁業経営体数の推移

(単位：経営体)

	平成22年 (2010)	27 (2015)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	増減率 (%)	
						令和2/平成22 (2020/2010)	令和2/元 (2020/2019)
計	103,740	85,210	79,067	73,270	69,560	▲32.9	▲ 5.1
個人経営体	98,300	80,570	74,526	68,900	65,310	▲33.6	▲ 5.2
団体経営体	5,440	4,640	4,541	4,370	4,250	▲21.9	▲ 2.7
会社	…	…	2,548	…	…	…	…
漁業協同組合	…	…	163	…	…	…	…
漁業生産組合	…	…	94	…	…	…	…
共同経営	…	…	1,700	…	…	…	…
その他	…	…	36	…	…	…	…

資料：農林水産省「漁業センサス」(平成30(2018)年)及び「漁業就業動向調査」(平成22(2010)年、27(2015)年、「漁業構造動向調査」(令和元(2019)～2(2020)年)

注：1) 漁業経営体とは、4-1の注1)と同じ。

2) 漁業協同組合には、漁業協同組合と漁業協同組合の支所等によるものを含む。

4-3 漁業用生産資材価格指数の推移 (平成27(2015)年=100)

	国内企業 物価指数	A重油	漁網	ロープ	プラスチック (不飽和ポリエ ステル樹脂)	ガラス長 繊維製品	塗料
平成27(2015)年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
令和3(2021)年 1月	100.8	108.1	106.6	108.6	111.0	104.1	100.6
2月	101.3	116.2	106.6	108.6	111.0	103.4	101.2
3月	102.3	128.1	106.6	108.6	111.0	103.6	101.0
4月	103.2	127.6	106.6	112.5	111.0	103.6	101.3
5月	103.9	131.5	106.6	112.5	113.1	101.5	101.7
6月	104.8	138.1	106.6	113.9	117.7	102.9	102.0
7月	106.0	143.3	106.6	113.9	117.7	103.5	102.4
8月	106.2	139.6	106.6	113.9	117.7	103.4	102.1
9月	106.6	141.5	106.6	113.9	117.7	103.0	103.0
10月	108.2	155.5	106.6	113.9	120.8	104.0	104.4
11月	108.9	159.6	106.6	113.9	125.0	106.3	105.7
12月	109.1	146.5	106.6	113.9	125.0	106.4	106.3
令和4(2022)年 1月	110.1	157.6	106.6	113.9	125.0	108.6	106.1
2月	111.1	165.7	106.6	113.9	125.0	108.3	106.1
3月	112.0	168.8	106.6	113.9	128.2	108.3	107.5

資料：日本銀行「物価関連統計」

4-4 沿岸漁家の漁労所得の推移

(単位：万円)

	平成22年 (2010)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)
沿岸漁家平均	251.2	350.9	338.3	347.8	272.6	216.0	177.1
沿岸漁船漁家	206.6	261.2	234.9	218.7	186.4	168.9	112.4
海面養殖業漁家	524.0	821.5	1,003.6	1,165.5	763.1	490.7	526.9

資料：農林水産省「漁業経営統計調査報告」及び「漁業センサス」に基づき水産庁で作成

注：1) 沿岸漁家平均は、「漁業経営統計調査報告」の個人経営体調査の結果を「漁業センサス」の10トン未満の漁船漁業、小型定置網漁業及び海面養殖業の経営体の比に応じて加重平均して算出した。

2) 沿岸漁船漁家は、「漁業経営統計調査報告」の個人経営体調査の漁船漁業の結果から、10トン未満分を再集計した。

3) 平成27(2015)～令和2(2020)年調査の漁船漁業については、東日本大震災により漁業が行えなかったことから、福島県の経営体を除く結果である。

4) 平成28(2016)年調査において、調査体系の見直しが行われたため、平成28(2016)年以降、わかめ類養殖と真珠養殖を除く結果である。

5) 漁労収入には、制度受取金等(漁業)を含めていない。



4-5 沿岸漁船漁家の漁業経営状況の推移

(単位：千円)

	平成22年 (2010)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)
漁 労 収 入	5,868	7,148	6,321	6,168	5,794	5,664	5,121
漁 労 支 出	3,802 (100.0)	4,536 (100.0)	3,973 (100.0)	3,981 (100.0)	3,930 (100.0)	3,975 (100.0)	3,997 (100.0)
雇用労賃	469 (12.3)	671 (14.8)	494 (12.4)	581 (14.6)	557 (14.2)	532 (13.4)	499 (12.5)
漁船・漁具費	292 (7.7)	392 (8.7)	289 (7.3)	284 (7.1)	298 (7.6)	311 (7.8)	345 (8.6)
修繕費	283 (7.4)	358 (7.9)	396 (10.0)	342 (8.6)	350 (8.9)	326 (8.2)	355 (8.9)
油 費	673 (17.7)	717 (15.8)	601 (15.1)	620 (15.6)	675 (17.2)	693 (17.4)	575 (14.4)
販売手数料	360 (9.5)	484 (10.7)	432 (10.9)	409 (10.3)	382 (9.7)	382 (9.6)	365 (9.1)
減価償却費	660 (17.4)	595 (13.1)	568 (14.3)	586 (14.7)	541 (13.8)	570 (14.3)	645 (16.1)
そ の 他	1,063 (28.0)	1,319 (29.1)	1,193 (30.0)	1,159 (29.1)	1,127 (28.7)	1,161 (29.2)	1,213 (30.3)
漁 労 所 得	2,066	2,612	2,349	2,187	1,864	1,689	1,124
漁労外事業所得	135	209	181	204	183	186	223
事 業 所 得	2,201	2,821	2,530	2,391	2,047	1,875	1,347

資料：農林水産省「漁業経営統計調査報告」及び「漁業センサス」に基づき水産庁で作成

注：1) 「漁業経営統計調査報告」の個人経営体調査の結果を基に、「漁業センサス」の個人経営体の10トン未満の漁船を用いる経営体数で加重平均した。

() 内は漁労支出の構成割合 (%) である。

2) 平成27(2015)～令和2(2020)年調査は、東日本大震災により漁業が行えなかったこと等から、福島県の経営体を除く結果である。

3) 漁労収入には、制度受取金等(漁業)を含めていない。

4-6 海面養殖業漁家の経営状況の推移

(単位：千円)

	平成22年 (2010)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)
漁 労 収 入	25,213	30,184	32,928	36,629	32,506	30,336	30,891
漁 労 支 出	19,972 (100.0)	21,969 (100.0)	22,892 (100.0)	24,974 (100.0)	24,875 (100.0)	25,429 (100.0)	25,622 (100.0)
雇用労賃	3,261 (16.3)	3,305 (15.0)	2,647 (11.6)	2,936 (11.8)	3,331 (13.4)	3,615 (14.2)	3,741 (14.6)
油 費	1,132 (5.7)	1,122 (5.1)	1,002 (4.4)	1,202 (4.8)	1,317 (5.3)	1,278 (5.0)	1,253 (4.9)
販売手数料	778 (3.9)	962 (4.4)	1,220 (5.3)	1,258 (5.0)	1,157 (4.7)	987 (3.9)	1,079 (4.2)
減価償却費	2,689 (13.5)	2,537 (11.5)	2,681 (11.7)	2,813 (11.3)	2,874 (11.6)	3,324 (13.1)	3,395 (13.3)
そ の 他	12,113 (60.6)	14,043 (63.9)	15,342 (67.0)	16,765 (67.1)	16,196 (65.0)	16,226 (63.8)	16,156 (63.0)
漁 労 所 得	5,240	8,215	10,036	11,655	7,631	4,907	5,269

資料：農林水産省「漁業経営統計調査報告」及び「漁業センサス」に基づき水産庁で作成

注：1) 「漁業経営統計調査報告」の個人経営体調査の結果を基に、「漁業センサス」の養殖種類ごとの経営体数で加重平均した。

() 内は漁労支出の構成割合 (%) である。

2) 平成28(2016)年調査において、調査体系の見直しが行われたため、平成28(2016)年以降、わかめ類養殖と真珠養殖を除く結果である。

3) 漁労収入には、制度受取金等(漁業)を含めていない。

4-7 会社経営体（漁船漁業）の漁労収益の状況（令和2（2020）年度）

（単位：千円）

	漁労収入 (漁労売上高)	漁労支出				漁労利益		経常 利益	売上利益率(%)	
		合計	雇用労賃 (労務費)	油費	減価償却費	減価 償却前	減価 償却後		減価 償却前	減価 償却後
平均	292,934	335,051	102,874 (30.7)	46,433 (13.9)	38,644 (11.5)	▲ 3,473	▲ 42,117	3,929	▲ 1.2	▲14.4
10～ 20トン	52,323	64,051	19,789 (30.9)	8,008 (12.5)	4,095 (6.4)	▲ 7,633	▲ 11,728	▲ 458	▲14.6	▲22.4
20～ 50トン	51,736	64,815	17,869 (27.6)	9,661 (14.9)	7,307 (11.3)	▲ 5,772	▲ 13,079	▲4,572	▲11.2	▲25.3
50～100トン	140,056	155,379	54,430 (35.0)	17,815 (11.5)	16,584 (10.7)	1,261	▲ 15,323	1,337	0.9	▲10.9
100～200トン	306,593	340,246	114,593 (33.7)	42,422 (12.5)	32,470 (9.5)	▲ 1,183	▲ 33,653	▲1,685	▲ 0.4	▲11.0
200～500トン	525,222	556,968	163,892 (29.4)	78,586 (14.1)	62,596 (11.2)	30,850	▲ 31,746	551	5.9	▲ 6.0
500トン以上	1,686,186	1,978,899	565,475 (28.6)	301,373 (15.2)	251,524 (12.7)	▲41,189	▲292,713	32,743	▲ 2.4	▲17.4

資料：農林水産省「漁業経営統計調査報告」に基づき水産庁で作成

注：1) トン数階層は、経営体が使用した動力漁船の合計トン数である。

2) 漁労支出＝漁労売上原価＋漁労販売費及び一般管理費

3) 漁労利益＝漁労収入－漁労支出

4) 売上利益率＝（漁労利益÷漁労収入）×100

5) 表頭の（ ）内は、単位を除き、「漁業経営統計調査報告」の会社経営体調査の項目名である。

6) 表中の（ ）内は、漁労支出の構成割合（％）である。

4-8 会社経営体（漁船漁業）の収益状況の推移

（単位：千円）

項目		平成22年度 (2010)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)
規模	使用動力船総トン数(トン)	190.2	204.4	218.9	223.1	219.9	218.2	223.1
	最盛期の従事者数(人)	18.2	19.3	19.6	20.0	19.4	19.2	19.2
	漁獲量(t)	1,742	1,788	1,781	1,883	2,048	1,846	1,879
漁業	漁労収入(漁労売上高)	250,048	327,699	337,238	368,187	331,956	295,549	292,934
	漁労支出	261,939	335,955	354,546	378,576	359,622	329,994	335,051
	雇用労賃(労務費)	81,751	105,940	114,969	121,838	111,054	101,204	102,874
	漁船・漁具費	10,941	18,155	23,187	28,520	21,398	17,046	17,146
	油費	44,967	54,299	43,119	47,110	54,639	54,110	46,433
	販売手数料	11,008	14,650	14,073	15,143	14,011	13,859	13,497
	その他の漁労支出	90,287	108,717	120,837	128,843	124,707	110,956	116,457
	減価償却費	22,985	34,194	38,361	37,122	33,813	32,819	38,644
	漁労利益	▲11,891	▲8,256	▲17,308	▲10,389	▲27,666	▲34,445	▲42,117
	経常利益	4,429	27,237	20,441	24,020	13,206	2,926	3,929
損益	償却前経常利益	27,414	61,431	58,802	61,142	47,019	35,745	42,573
	売上高償却前利益率(%)	11.0	18.7	17.4	16.6	14.2	12.1	14.5
	1人当たり労賃	4,492	5,489	5,866	6,092	5,724	5,271	5,358
分析指標	1人当たり売上高	13,739	16,979	17,206	18,409	17,111	15,393	15,257

資料：農林水産省「漁業経営統計調査報告」に基づき水産庁で作成

注：1) 漁労支出＝漁労売上原価＋漁労販売費及び一般管理費

2) 漁労利益＝漁労収入－漁労支出

3) 経常利益＝漁労利益＋漁労売上高－（漁労売上原価＋漁労販売費及び一般管理費）＋営業外収益－営業外費用

4) 償却前経常利益＝経常利益＋減価償却費

5) 売上高償却前利益率＝（償却前経常利益÷漁労収入）×100

6) 1人当たり労賃＝雇用労賃÷最盛期の従事者数

7) 1人当たり売上高＝漁労収入÷最盛期の従事者数

8) 表の（ ）内は、単位及び年度を除き、「漁業経営統計調査報告」の項目名である。



4-9 会社経営体（漁船漁業）の財務状況等の推移

項目	平成22年度 (2010)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	
経常利益 (千円)	4,429	27,237	20,441	24,020	13,206	2,926	3,929	
売上高経常利益率 (%)	1.5	6.7	4.9	5.4	3.2	0.8	1.1	
総資本経常利益率 (%)	1.4	6.8	4.7	5.2	2.9	0.6	0.8	
総資本回転率 (回)	0.9	1.0	0.9	1.0	0.9	0.8	0.8	
総資産（負債・純資産）(千円)	312,353	398,782	433,649	465,734	460,084	456,071	470,076	
固定資産 (千円)	160,428	189,644	223,856	230,942	230,528	236,018	243,268	
流動資産 (千円)	150,735	207,016	208,710	234,051	228,726	218,994	225,773	
負債 (千円)	318,199	315,115	315,965	333,497	330,001	332,280	355,651	
固定負債 (千円)	173,527	170,951	174,295	167,212	180,258	193,107	211,787	
流動負債 (千円)	144,672	144,164	141,670	166,285	149,743	139,173	143,864	
自己資本 (千円)	▲5,846	83,667	117,684	132,237	130,083	123,791	114,425	
固定資産比率 (%)	51.4	47.6	51.6	49.6	50.1	51.8	51.8	
固定比率 (%)	▲2,744.2	226.7	190.2	174.6	177.2	190.7	212.6	
流動比率 (%)	104.2	143.6	147.3	140.8	152.7	157.4	156.9	
自己資本比率 (%)	▲ 1.9	21.0	27.1	28.4	28.3	27.1	24.3	
漁業部門	漁労収入（漁労売上高）(千円)	250,048	327,699	337,238	368,187	331,956	295,549	292,934
	漁労支出 (千円)	261,939	335,955	354,546	378,576	359,622	329,994	335,051
	最盛期の従事者数 (人)	18.2	19.3	19.6	20.0	19.4	19.2	19.2
	1人当たり売上高 (千円)	13,739	16,979	17,206	18,409	17,111	15,393	15,257
	漁労利益 (千円)	▲11,891	▲8,256	▲17,308	▲10,389	▲27,666	▲34,445	▲42,117
	売上利益率 (%)	▲ 4.8	▲ 2.5	▲ 5.1	▲ 2.8	▲ 8.3	▲11.7	▲14.4
	付加価値生産性 (千円)	7,095	8,760	8,858	9,751	8,329	7,242	7,018
	付加価値率 (%)	2.8	2.7	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4

資料：農林水産省「漁業経営統計調査報告」に基づき水産庁で作成

注：1) 経常利益＝漁労利益＋漁労外売上高－（漁労外売上原価＋漁労外販売費及び一般管理費）＋営業外収益－営業外費用

2) 売上高経常利益率＝（経常利益÷事業収入）×100

3) 総資本経常利益率＝（経常利益÷総資本）×100

4) 総資本回転率＝売上高合計÷負債・純資産合計

5) 固定資産比率＝（固定資産÷総資産）×100

6) 固定比率＝（固定資産÷自己資本）×100

7) 流動比率＝（流動資産÷流動負債）×100

8) 自己資本比率＝（自己資本÷負債・純資産合計）×100

9) 漁労支出＝漁労売上原価＋漁労販売費及び一般管理費

10) 1人当たり売上高＝漁労収入÷最盛期の従事者数

11) 漁労利益＝漁労収入－漁労支出

12) 売上利益率＝（漁労利益÷漁労収入）×100

13) 付加価値生産性＝（漁労収入－物的経費）÷最盛期の従業者数

14) 付加価値率＝（付加価値生産性÷漁労収入）×100

4-10 漁協（沿海地区出資漁協）の事業規模（全国）の推移

（単位：億円）

項目	平成20年度 (2008)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)
信用							
貯金総額	8,994	8,140	7,885	7,921	7,890	7,758	7,634
貸付総額	2,157	1,709	1,539	1,459	1,412	1,354	1,326
購買							
供給取扱高	2,214	1,925	1,697	1,645	1,637	1,726	1,628
うち 石油類	1,255	1,031	782	690	763	854	765
うち 資材類	858	765	824	814	730	725	720
うち 生活用品	101	128	92	141	144	146	146
販売							
長期共済契約保有高	10,239	10,913	11,336	11,087	11,064	10,326	9,597
短期共済掛金	29,278	25,132	24,663	24,216	23,673	23,083	22,539
短期共済掛金	46	42	42	41	41	40	39

資料：水産庁「水産業協同組合統計表」及び全国共済水産業協同組合連合会調べ

注：共済の長期共済契約保有高は普通厚生共済、生活総合共済及び漁業者高齢福祉共済の保障共済金額の合計。

また、短期共済掛金は乗組員厚生共済、団体信用厚生共済及び火災共済の受入共済掛金の合計。

4-11 沿岸、沖合・遠洋漁業別就業者数の推移

(単位：人)

	平成22年 (2010)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	増減率 (%)	
								令和2/平成22 (2020/2010)	令和2/元 (2020/2019)
計	202,880	166,610	160,020	153,490	151,701	144,740	135,660	▲33.1	▲6.3
自家漁業のみ (うち女性)	128,270 (25,250)	100,520 (17,860)	95,740 (16,980)	91,950 (16,640)	86,943 (14,011)	80,290 (13,500)	75,810 (12,310)	▲40.9 ▲51.2	▲5.6 ▲8.8
(うち 沿岸漁業就業者)	124,680	96,720	92,370	88,670	84,122	78,520	73,980	▲40.7	▲5.8
(うち女性)	(25,090)	(17,640)	(16,850)	(16,540)	(13,802)	(13,470)	(12,260)	▲51.1	▲9.0
(うち沖合・ 遠洋漁業就業者)	3,590	3,800	3,370	3,280	2,821	1,770	1,840	▲48.7	4.0
(うち女性)	(160)	(220)	(130)	(100)	(209)	(30)	(40)	▲75.0	33.3
漁業雇われ (うち女性)	74,610 (4,750)	66,100 (4,030)	64,280 (3,550)	61,530 (4,340)	64,758 (3,504)	64,450 (3,690)	59,850 (3,220)	▲19.8 ▲32.2	▲7.1 ▲12.7

資料：農林水産省「漁業センサス」(平成30(2018)年)、「漁業就業動向調査」(平成22(2010)年、27(2015)年～29(2017)年)及び「漁業構造動態調査」(組替集計)(令和元(2019)年～2(2020)年)

- 注：1) 漁業就業者とは、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した者をいう。
 2) 自家漁業のみとは、漁業就業者のうち、自家漁業のみに従事し、共同経営の漁業又は雇われての漁業には従事していない者をいう(漁業以外の仕事に従事したか否かは問わない。)
 3) 漁業雇われとは、漁業就業者のうち、「個人経営体の自家漁業のみ」以外の者をいう(漁業以外の仕事に従事したか否かは問わない。)
 4) 沿岸漁業就業者とは、漁船非使用漁業、10トン未満の漁船(無動力漁船及び船外機付漁船を含む。)を使用する漁業、定置網漁業及び海面養殖業に従事した漁業就業者をいう。また、2018年漁業センサスにおいて調査体系の見直しが行われたため、平成30(2018)年以降の沿岸漁業就業者は、漁船非使用漁業、使用した漁船(無動力漁船及び船外機付漁船を含む。)の最も大きなものが10トン未満であった漁業経営体に属する就業者並びに海上作業従事日数が最も多かった漁業種類が定置網漁業及び海面養殖業である漁業就業者をいう。
 5) 沖合・遠洋漁業就業者とは、沿岸漁業就業者以外の漁業就業者をいう。

4-12 新規漁業就業者数の推移

	平成22年 (2010)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)
新規漁業就業者数(人)	1,867	1,915	1,927	1,971	1,943	1,729	1,707
新規学卒就業者(%)	17.9	19.7	20.7	21.0	23.3	22.9	25.4
離職転入者(%)	72.2	70.0	64.7	66.8	65.6	65.4	67.1

資料：都道府県が実施している新規漁業就業者に関する調査から推計

- 注：1) 新規学卒就業者は、学校等を卒業し他産業に主として従事することなく当該年次に新たに漁業に就業した者である。
 2) 離職転入者は、他産業に主として従事していた者で当該年次に新たに漁業に主として従事した者である。
 3) 新規学卒就業者及び離職転入者の比率は、新規漁業就業者のうち回答のあった者における割合である。
 4) 平成22年(2010)年の数値については、東日本大震災により岩手県、宮城県及び福島県の調査が実施できなかったため、平成21(2009)年の新規就業者数を基に3県分を除く全国のすう勢から推計した値を用いた。

4-13 我が国の漁船勢力の推移

(単位：隻)

	昭和43年 (1968)	48 (1973)	53 (1978)	58 (1983)	63 (1988)	平成5 (1993)	10 (1998)	15 (2003)	20 (2008)	25 (2013)	30 (2018)
計	345,606	331,274	320,972	320,949	293,934	267,574	236,484	213,808	185,465	152,998	132,201
無動力漁船	95,701	54,303	30,474	24,815	16,815	12,869	7,840	7,688	5,327	3,779	3,080
船外機付漁船	74,115	99,349	111,860	119,358	114,914	108,121	98,109	91,195	81,076	67,572	59,201
動力漁船	175,790	177,622	178,638	176,776	162,205	146,584	130,535	114,925	99,062	81,647	69,920

資料：農林水産省「漁業センサス」

注：海面漁業で漁業生産のために使用されたものであって、調査日現在に使用しているもの。



5 漁村

5-1 漁港数の推移

(単位：港)

		平成23年 (2011)	28 (2016)	31 (2019)	令和2 (2020)	3 (2021)
漁港数		2,914	2,866	2,806	2,790	2,785
第1種	その利用範囲が地元の漁業を主とするもの。	2,205	2,134	2,069	2,052	2,047
第2種	その利用範囲が第1種漁港よりも広く、第3種漁港に属しないもの。	496	519	524	525	525
第3種	その利用範囲が全国的なもの。	101	101	101	101	101
特定第3種	第3種漁港のうち水産業の振興上特に重要な漁港で政令で定めるもの。	13	13	13	13	13
第4種	離島その他辺地において漁場の開発又は漁船の避難上特に必要なもの。	99	99	99	99	99

資料：水産庁調べ

注：各年4月1日現在の漁港数。

5-2 漁港登録漁船隻数の推移

(単位：隻)

	平成21年 (2009)	26 (2014)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)
漁港登録動力漁船隻数	212,433	178,451	164,959	160,227	155,873

資料：水産庁調べ

注：各年12月31日現在の隻数。

6 水産物の栄養

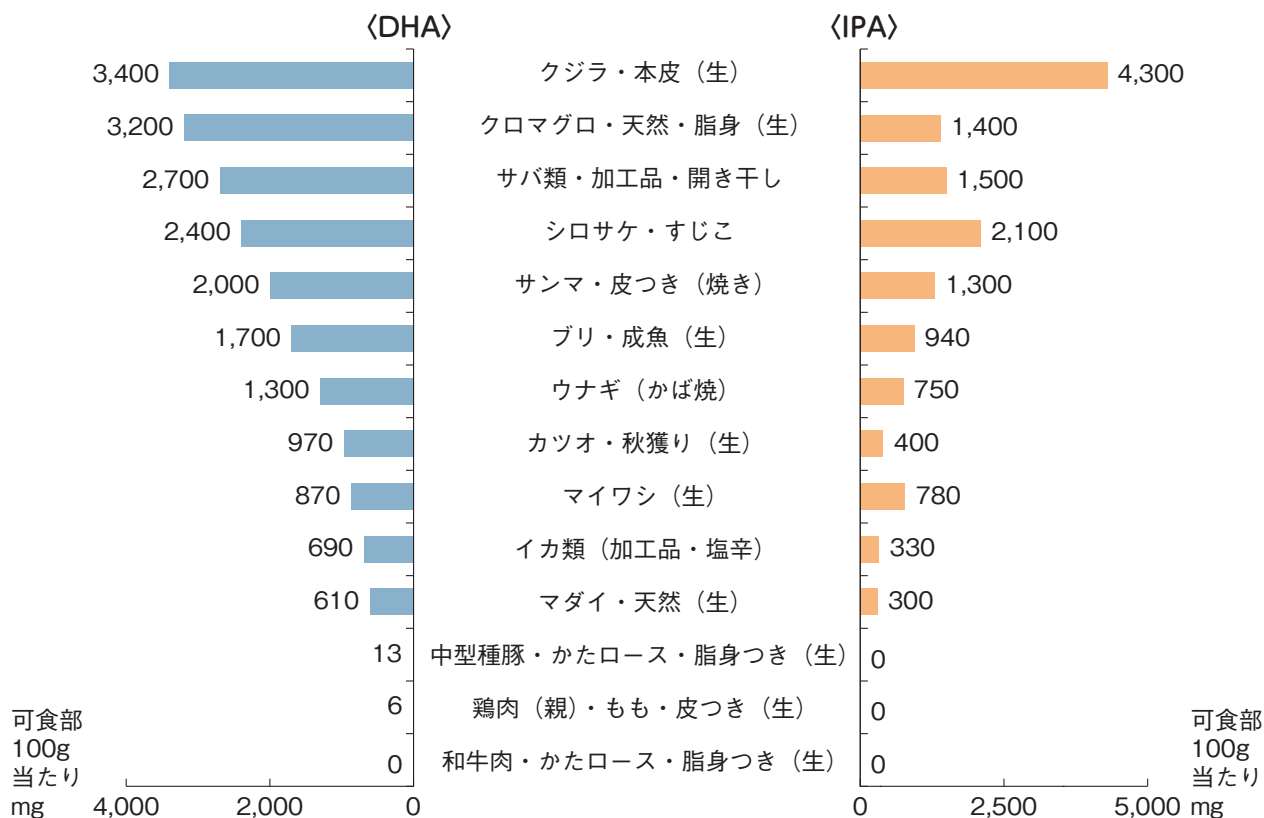
6-1 1人1日当たり食品群別栄養素等摂取量（令和元（2019）年）

	摂取量 (g)	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	カリウム (mg)	カルシウム (mg)	マグネシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンD (μ g)	ビタミンE (mg)	ビタミンB12 (μ g)
総摂取量	1,979.9	1,903.0	71.4	61.3	2,299.4	504.9	247.1	7.6	6.9	6.7	6.3
うち魚介類	64.1	101.8	12.2	4.8	179.6	37.1	20.2	0.7	5.3	0.9	4.2
うち肉類	103.0	237.0	17.6	17.2	259.0	5.7	19.0	0.8	0.2	0.3	0.9
うち卵類	40.4	61.1	5.2	4.1	52.2	20.6	4.4	0.7	0.7	0.4	0.4
うち乳類	131.2	104.2	5.1	5.1	190.8	161.5	15.1	0.0	0.2	0.2	0.4
魚介類からの 摂取量の割合	3.2%	5.3%	17.1%	7.8%	7.8%	7.3%	8.2%	9.2%	76.8%	13.4%	66.7%

資料：厚生労働省「国民健康・栄養調査」（令和元（2019）年）

注：新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度及び3年度調査は中止されたため、令和元年度調査のデータに基づき資料を作成した。

6-2 DHA、IPAを多く含む食品の例



資料：文部科学省「日本食品標準成分表2020年版（八訂）脂肪酸成分表編」に基づき水産庁で作成